

ペイロール社事業拡大のため地方へ進出
求人不足の時代に北海道江別で大量雇用を創出！
地方自治体と民間の成功モデルへスタート

給与計算業務のフルアウトソーシングサービスを行う株式会社ペイロール(東京都江東区有明2-5-7 TOC有明イーストタワー11階・12階 代表取締役:湯浅 哲哉)と、北海道江別市(市長:三好 昇)との官民強力体制により、北海道江別市に北海道BPO(Business Process Outsourcing)センターを開設しますのでご案内いたします。

概要

給与計算のアウトソーシングサービスのリーディングカンパニーである株式会社ペイロールは、新サービスの開始によって更なる事業拡大を狙い、2009年4月1日より、北海道江別市に「北海道BPOセンター」を開設します。

本センター開設によって、2012年までに250名もの採用を計画しており、江別市での雇用創出効果は大きく、企業誘致に積極的であった江別市も全面的に協力体制を敷いています。「1兆円を越える」といわれる給与計算のアウトソーシングマーケットを開拓しようとする成長企業と、雇用を創出し若者の流出を防ごうとする地方自治体が一体となり進めてきたプロジェクトがいよいよ本格的にスタートします。

背景

ペイロール社は、1989年の設立以来一貫して給与計算のアウトソーシングを生業としており、今年で21期を迎えます。主要顧客には、13万人の従業員を抱える大手外食チェーンをはじめ、各業界のトップ企業を持ち、現在では約33万人の給与計算を手がけるまでに成長しております。

この度、兼ねてから課題として上がっていた、属人的に業務が行われやすい中小企業における給与計算業務の効率を圧倒的に向上させる、フルスコープ型ASPサービス『Probusiness』をサービスインします。

これに伴い、都心に比べ大規模なオフィス開設が比較的容易であり、且つ優秀な人材が多く眠るといわれる北海道江別市において、BPOセンターを開設することとなりました。江別市においても、4つの私立大学がありながら、多くの若者が流出してしまう現状に歯止めをかけようと数年前から企業誘致を積極的に取り組んでおり、両社のメリットが一致し強固な関係を結びました。



江別活性化計画によって建設されたえべつみらいビル



札幌ドームでの会社説明会には100人以上の学生が殺到

江別市について

江別市は人口12万人超。札幌市の東に隣接し、同市のベッドタウンとして急速に人口が増加しました。市内には4つの大学(うち一校は情報系)があるものの、近年は、都心回帰や高齢化により人口が微減しています。

北海道江別市は、江別活性化計画を開始。江別駅前の再開発事業として、江別駅東側の旧国鉄清算事業団用地に、2つのビルを建設。そのうち、北海道BPOセンターが入居する「えべつみらいビル」は商業・業務棟を目的とした4階建てのビルで、3階、4階には、電話対応業務などのコールセンター、IT企業を目的とした設備となっています。

企業概要

会社名: 株式会社ペイロール

本社所在地: 東京都江東区有明2-5-7 TOC有明イーストタワー11階 / 12階

代表者: 代表取締役社長 湯浅 哲哉

URL: <http://www.payroll.co.jp>

設立: 1989年4月1日

資本金: 9億97百万円

従業員数: 266名 (2009年4月現在)

事業内容: 給与計算のフルアウトソーシング

導入実績: 日本マクドナルド(株)、(株)あおぞら銀行、マイクロソフト(株) ほか210社33万人

売上高: 19億28百万円 / 年度 (2008年3月期)

24億57百万円 / 年度 (2009年3月期見込み)

取材 / お問い合わせ

株式会社ペイロール 社長室 和田

: 03-5520-1400 FAX: 03-5520-1390

江別市 経済部企業立地推進室 山田・渡辺

011-381-1044